

令和7年度法科大学院教育課程連携協議会議事録

日 時：2025年12月8日（月）13:00～14:21

場 所：オンライン（Zoom）

出席者：

青井 未帆 委員（第一号）（研究科長）、神前 禎 委員（第二号）
三澤 英嗣 委員（第三号）、廣澤 努 委員（第三号）、星野 和也 委員（第五号）

I. 協議事項・報告事項

1. ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの改定
2. 令和6年度 年次報告書
3. 令和7年6月24日 自己点検評価・委員会報告書
4. 令和7年度自己点検・評価の実施状況
5. 令和7年度教育施策分析レポート
6. 令和6年度の自己点検・評価に基づく取組の効果検証

II. 協議

冒頭で法務研究科長より、上記の協議事項1～6について説明がなされ、その後、各委員から主に以下の意見が出された。

○ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの改定と日々の授業やカリキュラムとの関連性について読み取ることが困難である。

○学生が少なくとも司法試験のボーダーラインを超えられるようにするための対策を練ってはどうか。

○令和7年司法試験において在学中受験の合格率が相対的に高かったのは、勉強仲間が傍にいたことが要因ではないか。修了してからもサポートし続けることをメール等で周知することが大事である。

○豊島区と大学に接点があるのであれば、豊島区の職員の方が法科大学院に来て勉強してもらい機会もあってもよいと思うし、他方、夏休み期間等を使い、学生に行政の場で東京都の自治体が抱えている問題に触れる機会を提供するようなことがあると、双方にメリットがあるのではないか。

○非法学部出身者から2名の合格者を輩出したことは、胸を張って言えるのではないか。

上記の意見交換の結果、豊島区との連携に係るプログラムの具体化に向けて、協議を開始することとなった。

以 上